

# あたりまえってあたりまえ!?

～「アンコンシャス・バイアス」を考える～

■人権政策・男女共同参画課

性別、年齢、性格、国籍、趣味など、人は一人一人さまざまな点で違いがあります。多様性を受け入れているつもりでも、人や社会には無意識のうちに「あたりまえ」という偏見や思い込みが潜んでいることがあります。

今月はそんな、無意識の偏見や思い込み(アンコンシャス・バイアス)について考えます。



「アンコンシャス・バイアス」とは?

「アンコンシャス・バイアス」とは、私たちがこれまで生きてきた中での経験や触れてきた情報から、自然と身につく「ものの見方」のことです。「無意識の思い込み」や「無意識の偏見」などとも言われます。

私たちはそれまで生きてきた経験などから身についたアンコンシャス・バイアスによって物事を瞬時に判断し処理しています。

アンコンシャス・バイアスって悪いもの?

アンコンシャス・バイアス自体は決して悪いものではなく、むしろ自然なもので私たちの判断を助けてくれるものでもあります。

では何が問題なのでしょう?

仮にその思い込みの根拠が不確かなもので事実と異なる場合、あるいは、「〇〇の人は××だ」「普通は～だ」などと決め付けられ、そこに当てはまらなかった人がいた場合、この無意識の思い込みから出た言葉や行動は、ときにハラスメントとなって人を傷つけ、差別につながる可能性があります。また、相手の可能性を狭めてしまうことにもつ

ながってしまったため注意が必要です。

国や県、企業などでは、無意識な思い込みによる言動が社会や組織での自由な意見や活動を妨げ、その人のモチベーションや生産性などに影響するとして、独自に研修や組織体制の見直しに取り組み所も増えています。

こんなものもアンコンシャス・バイアス

具体的にどのようなものがあるのでしょうか。

例えば、次のようなものもアンコンシャス・バイアスと考えられます。

- 高齢者に柔軟な思考は難しい
- DV(ドメスティック・バイオレンス、家庭内暴力)の被害者は女性
- 学歴や職業などで相手を判断
- 定時で帰宅する社員はやる気がない
- 組織のトップは男性が向いている
- 結婚したら子どもを産む
- お酒が飲めない人は付き合いが悪いなど

# あたりまえってあたりまえ!?

～「アンコンシャス・バイアス」を考える～

## 社会にあふれるアンコンシャス・バイアス

アンコンシャス・バイアスは、社会や組織に染み付いている場合があります。

### 家事の写真が載った家電品カタログ

家電店でよく目にする家電品のカタログ。何気なく目にするカタログの写真ですが、福岡県人権啓発情報センターの調べによると、カタログ内で家事をしている人の写真のうち、実に約7割もの写真が女性が一人で行っているものだそうです。

これは、「家事は女性がするもの」という昔からのイメージによるものだと考えられます。また、こういったカタログは偏見を追認するとともに無意識の偏見を植え付けるものともなります。



### 血液型で人を決め付ける

メディアなどで、血液型だけでその人の性格や能力を決め付ける表現のものがああります。また、日常会話でも「O型っぽい性格だね」などと話をしたことはありませんか？ 何気ない話題の一つかと思うかもしれませんが、相手によっては嫌な思いをしているかもしれません。これもアンコンシャス・バイアスの一つだと言えます。

また、血液型による思い込みや決め付けが過ぎると、ブラッドタイプ・ハラスメントと言われる差別につながる可能性もあります。



### 「男は仕事、女は家庭」?

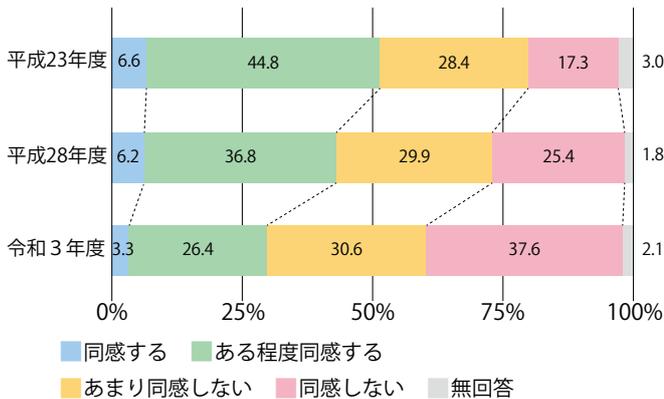
アンコンシャス・バイアスの中に、性別に関するものがあります。

市では、5年ごとに「筑紫野市男女共同参画市民意識調査」を行っており、この調査の中で、「男は仕事、女は家庭」という考え方について質問しています。(グラフ参照)

この質問に対し、平成23年度では「同感する」「ある程度同感する」の回答が約5割を占めていました。

しかし、調査を行うごとにその回答は少なくなり、令和3年度では「同感する」「ある程度同感する」と回答した人の年代別構成比率(令和3年度)

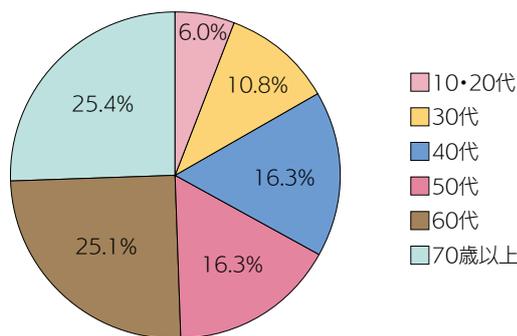
### 「男は仕事、女は家庭」という考え方について



する」「ある程度同感する」は約3割にまで減っています。

また、令和3年度の「同感する」「ある程度同感する」と回答をした人の年代別構成を見ると、高齢になるにつれて「男は仕事、女は家庭」という考えを多く持っていることが分かります。

### 「同感する」「ある程度同感する」と回答した人の年代別構成比率(令和3年度)



### 意識の移り変わり

「筑紫野市男女共同参画市民意識調査」の結果からも、時代の変化とともに、性別による役割分担の意識が減少していることがわかります。

また、若い世代ほど性別による固定的な思い込みは少なくなっていることも見て取れます。

# 若い世代が感じる アンコンシャス・バイアス

9ページにもあるように、市でも「男は仕事、女は家庭」などといった固定的な思い込みは少なくなっているようですが、実際に若い世代の人たちはどのように感じているのでしょうか。

令和5年成人式(20歳対象)実行委員のうち3人に話を聞いてみました。

「アンコンシャス・バイアス」という言葉を聞いてどう思いましたか。

石田さん：第一印象や見た目で決め付けてしまっている時はあると思います。実際は優しい人でも、見た目が怖い人は、そういう人なのかな、とか。

大神さん：私は眼鏡をかけて、性格も消極的だから「本が好きでしょ」と決め付けられたこともあります。

永吉さん：学生時代に、いつも女の子たちと一緒にいる、仲の良い男の子がいて、先生から「男一人で、両手に花だね」と言われて。ただ仲が良いだけなのになあ、と思ったことはよく覚えてます。

無意識に、「性別」による偏見があるかと思いますが、生活の中では感じますか。

大神さん：アルバイトの何気ない会話の中で「女性は家庭

を守っていかないとね」とか言われたりもありませんね。石田さん：(世間的に)女性は化粧するのがマナーとなっているのも大変そう。

永吉さん：私は化粧は好きだからできる限り頑張りたいかな。

大神さん：私は化粧は(永吉さんの知識の)おこぼれ程度しか知らないのであまり。女性の中にはそういった「あたりまえ」に苦しんでいる人もいるのかもしれないね。

石田さん：でも、男性でも進学をきっかけに服に興味を持つとかフェイスパックとか化粧水とかフェイスパックとか美容に気を使っていると言う人は増えてきています。男性が美容に興味を持つということを世間的に出しやすくなっていると思います。

永吉さん：男性でもメイクに興味を持っている友人もいて

石田さん：(世間的に)女性は化粧するのがマナーとなっているのも大変そう。

永吉さん：私は化粧は好きだからできる限り頑張りたいかな。

大神さん：(永吉さんの知識の)おこぼれ程度しか知らないのであまり。女性の中にはそういった「あたりまえ」に苦しんでいる人もいるのかもしれないね。



石田 匠さん  
(筑山中学校 卒業生)

永吉 夕希菜さん  
(筑紫野中学校 卒業生)

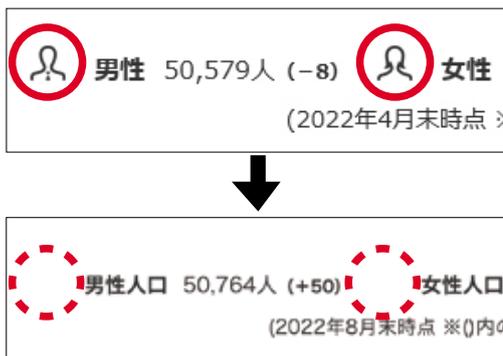
アンコンシャス・バイアス  
解消に向けた取り組み

## ●市内中学校の制服選択

「女性の制服はスカート」という固定概念により、女子中学生の制服はスカートと決まってきました。しかし、現在は市内の全中学校で、女子生徒もスラックスを選択できるようになりました。

## ●ホームページの人口表示

市ホームページでは市の人口推移をお知らせしており、男性・女性を表すピクトグラムがありました。しかしこれは、「ネクタイによって」仕事をするのは男性、「長髪は女性」という思いこみを助長することにつながりかねないため、現在は、ピクトグラムは外し、文字による表記のみになっています。



# だれもが個性と能力を 発揮しながら自分らしく 生きられる社会への3ステップ

**知る** アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込みや決めつけ)について知ろう!

- ①誰の心の中にもあるもの。
- ②差別やハラスメントにつながる。
- ③能力発揮や、その人らしい生き方を妨げる。

**気づく** 自分自身の日頃の言動を振り返り、思い込みを疑ってみよう!

- ①固定概念や前例にとらわれていないか「どうせ…」、「普通は…」、「…はずだ」などの言葉には要注意!
- ②チェックシートを活用して自己診断を試みよう。

チェックシートや事例集はこちらから!



内閣府 バイアス

内閣府男女共同参画局  
ホームページ

**対処する** 自分自身の思い込みと向き合い、上手にコントロールしよう!

- ①相手との「対話」を意識する。
- ②行動や判断をする前に、一度立ち止まって考えてみる。
- ③幅広い情報や多様な考えに触れてみる。
- ④新たな価値観で挑戦!

人々にはさまざまな違いがあります。多様性について考える機会が増える中、誰もが自分らしく活躍できる社会に向け、人々の意識も変化しつつあります。

すべての人が自分らしく輝ける社会を目指して、まずは、自分の中にある思い込みと向き合うことから始めてはどうでしょうか。

「どこのアイライン使ってるの?」と話をすると、(化粧で)自分をよく見せたいと思っていて男性も増えてきてると思っています。

最後に、今回話をしてみてもうのように感じましたか。

永吉さん:アンコンシャス・バイアスは、意味を知るととても奥が深い言葉だと知り、日常にたくさんあることに気付きました。アンコンシャス・バイアスを知って意識を変えていくことは大切なことだと思うので、もっとたくさんの人にこの言葉を知ってほしいと思います。

石田さん:私も無意識のうちに人を傷つけたり傷つけられたりしていることを改めて実感しました。勝手な決めつけや偏見を持たずに人と接していきたいと思っています。

大神さん:とても身近なものだと気付きました。無くすことは難しいかもしれないですが、知っておくのと知らないのでは全然違うのではないかと思います。

さまざまな体験と感想を話してくれた3人。筑紫野市の成人式にもスーツで参加する女性も増えてきているといいまします。若い世代の人たちは、以前よりも偏見や固定概念というものにとらわれず、自分らしく生きていくのかもしれない。



大神 愛夏さん  
(筑紫野中学校 卒業生)

## ●男性職員の育児休業

女性が取るものという考えが根付いていた育児休業。市でも男性の育児休業取得が推奨され、男性の育児休業取得率が高くなってきました。また、男性の育児休業取得率を高めることで、男女がともに働きやすい環境づくりを進めています。

### 筑紫野市役所の男性の育児休業取得状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
育児休業取得者	1人	3人	10人
育児休業取得率	9.1%	16.7%	55.6%